

赤羽国土交通大臣会見発言 2020年7月3日(金)

(関係部分抜粋)

(問) 新型コロナウイルスについてです。昨日、東京都で2か月ぶりに100人を超える感染が確認されました。再び感染再拡大が懸念されているところだと思います。国土交通省では、特に交通機関での感染防止の取組を進めてきましたし、また、特に観光分野では先月から移動の自粛が緩和される中で、大臣も安心・安全が大事だと述べてきました。交通・観光分野を所管する立場として、東京都での感染確認をどう受け止めているのか、また、今後の対応、利用者への呼び掛けなどあればお願いします。

(答) 最近の東京都の新規感染者数につきましては、昨日の菅官房長官、西村担当大臣からの御発言と同様に、「高い緊張感をもって警戒すべき状況であると認識しています。また、直ちに、再び緊急事態宣言を発出する状況にはない」と考えているところです。

そうした中で、国土交通省としましては、改めて、緊張感を持って、各事業者並びに利用者の皆さまに対しましても、感染予防対策を徹底していただくよう強く要請してまいりたいと考えております。

公共交通機関につきましては、(中略)かねてより利用者の皆さまにお願いをということで、1つ目は、マスクを着用し、車内では会話は控えめにと。2つ目は、車内換気への御理解・御協力をと。冷房をかけても窓を開けるということが原則です。そうしたことも御理解いただきたい。3つ目は、混雑を避けた時間帯、車両での御利用をと。テレワーク・時差出勤への御協力、このような3本柱をかねてよりお願いしてまいりましたが、(中略)引き続きこの取組を強化していきたいというのが1つです。

また、観光・旅行業につきましては、6月19日、県をまたぐ移動が解禁された日に発表させていただきましたが、新たな生活様式における、安心して楽しい旅行のための「新しい旅のエチケット」、標語とイラストによる大変わかりやすいエチケット一覧ですが、こうしたことを観光関連事業者の皆さんと協力して、旅行者の皆さんへの普及・啓発に努めてまいりたいと考えています。

当然のことながら、事業者の皆さまに、それぞれ業界団体で作成されたガイドラインをしっかりと現場で徹底していただくということも強く要請していきたいと考えています。

引き続き、今後の感染状況を注視しながら、関係省庁等とも連携しつつ、適時適切にしっかりと対応してまいりたいと考えています。

安全・安心はすべての大前提だということは当然のことだと思っています。